

- 1) 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Douglas Kinnison SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動(2012年3月2日 第26回大気圏シンポジウム)
- 2) 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Douglas Kinnison SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動(2012年5月21日 日本地球惑星科学連合2012年大会)
- 3) Sanjay Mehta, Tsuda, Toshitaka., Fujiwara, Masatomo Warming trends in the tropical tropopause layer estimated from GPS radio occultation in 2001–2010(2012年5月21日 日本地球惑星科学連合2012年大会)
- 4) 稲飯洋一, 柴田隆, 藤原正智, 長谷部文雄, Holger Voemel インドネシア海洋大陸上空熱帯対流圏界面における相対湿度と巻雲の関係 (2012年5月21日 日本地球惑星科学連合2012年大会)
- 5) 今井弘二, 藤原正智, 鈴木睦, 眞子直弘, 佐野琢己, 光田千紘, 内藤陽子, 塩谷雅人 SMILES レベル2 バージョン2.1 オゾンとオゾンゾンデの比較結果について(2012年5月21日 日本地球惑星科学連合2012年大会)
- 6) 荻野慎也, 藤原正智, 塩谷雅人, 長谷部文雄, 松本淳, HA Hoang Thi Thuy, THANH Nguyen Thi Tan ハノイのオゾンゾンデ観測に基づく北半球亜熱帯域におけるオゾン変動(2012年5月21日 日本地球惑星科学連合2012年大会)
- 7) 藤原正智, Polavarapu, Saroja Jackson, David SPARC 再解析比較プロジェクト(S-RIP)の提案(2012年5月21日 日本地球惑星科学連合2012年大会)
- 8) 藤原正智, 鈴木順子, A. Gettelman, M. I. Hegglin, 秋吉英治, 柴田清孝 熱帯対流圏界面における波活動—再解析7種と化学気候モデル4種の比較(2012年5月26日 日本気象学会2012年度春季大会)
- 9) 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Douglas Kinnison SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動(2012年5月26日 日本気象学会2012年度春季大会)
- 10) 杉立卓治, 藤原正智, 清水健作, 井端一雅, 金井良之 気候監視のためのラジオゾンデ用水蒸気センサの開発(2012年5月27日 日本気象学会2012年度春季大会)
- 11) 今井弘二, 藤原正智, 鈴木睦, 眞子直弘, 佐野琢己, 光田千紘, 内藤陽子, 塩谷雅人 A possible bias of ozonesonde measurements owing to the response time problem (2012年10月3日–10月5日 日本気象学会2012年度秋季大会)
- 12) 鈴木順子, 藤原正智, 西澤智明, 松井一郎, 城岡竜一, 米山邦夫, 勝俣昌己, 杉本伸夫 熱帯インド洋の対流圏界面遷移層にみられた短周期擾乱による巻雲変動(2012年10月3日–10月5日 日本気象学会2012年度秋季大会)
- 13) 岡本功太, 佐藤薫, 藤原正智 成層圏残差循環における重力波の重要性 —再解析データ比較プロジェクト(S-RIP)— (2012年10月3日–10月5日 日本気象学会2012年度秋季大会)

- 14) 杉山昌広, 藤原正智 気候工学(ジオエンジニアリング)についての学部生を対象としたアンケート調査 (2012年10月3日-10月5日 日本気象学会 2012年度秋季大会)
- 15) Sanjay Kumar Mehta, Tsuda, Toshitaka., Fujiwara, Masatomo Longitudinal dependence in the interannual variation of the temperature anomalies (2012年10月3日-10月5日 日本気象学会 2012年度秋季大会)
- 16) 杉立卓治, 藤原正智 Meisei RS-06G ラジオゾンデによる湿度測定 of 気温 0°C における不連続な変化とその補正法 (2012年10月3日-10月5日 日本気象学会 2012年度秋季大会)
- 17) 岡田靖子・山崎孝治 沖縄梅雨の気候学的時間発展と5月と6月の特徴の違い(2012年5月26日 日本気象学会春季大会)
- 18) 渡邊武志・山崎孝治 年々変動スケールでの西部チベット高原上空の変動とアジアモンスーン域の擾乱との関係(2012年10月3日 日本気象学会秋季大会)
- 19) 江淵 直人 海と大気の相互作用を測る(2012年1月7日 名古屋大学地球水循環研究センター公開講演会)
- 20) 阿部 泰人・江淵 直人 Aquarius/SAC-D が観測した海面塩分の精度評価(2012年3月29日 日本海洋学会)
- 21) Zhang, W., and Ebuchi, N. Estimation of wind drift current in the Soya Strait (2012年12月12日 九州大学応用力学研究所 共同研究集会「海洋レーダを用いた海況監視システムの開発と応用」)
- 22) 江淵 直人・阿部 泰人 Aquarius によって観測された海面塩分の精度評価(2012年5月25日 海洋理工学会)
- 23) 江淵 直人・藤井 智史・市川 香・森本 昭彦・吉川 裕・磯口 治 衛星海面高度計と短波海洋レーダー(2012年9月13日 日本海洋学会)
- 24) 江淵 直人・阿部 泰人 Aquarius によって観測された海面の L-band 散乱断面積の風速・風向依存性(2012年9月13日 日本海洋学会)
- 25) 磯口 治・江淵 直人・市川 香・吉川 裕 衛星海面高度計沿岸プロダクトと HF レーダ流速との比較(2012年9月13日 日本海洋学会)
- 26) 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康 高解像度太平洋・オホーツク海モデルの開発(2012年3月28日 2012年度 日本海洋学会 春季大会)
- 27) 内本圭亮, 中村知裕, 西岡純, 三寺史夫, 三角和弘, 津旨大輔 オホーツク海のどこの海底に鉄ソースがあれば高密度陸棚水の高濃度の鉄が実現され得るか?(2012年3月28日 2012年度 日本海洋学会 春季大会)
- 28) 三寺史夫, 内本圭亮, 中村知裕 冬季における宗谷暖流の力学(2012年3月28日 2012年度 日本海洋学会 春季大会)
- 29) 上原裕樹, Kruts, A. A., Volkov, Y. N., 三寺史夫, 中村知裕, 小埜恒夫 オホーツク海中層水に与えるベーリング海からの塩輸送の影響—FERHRI 収集資料を用いて—(2012年3月

28日 2012年度 日本海洋学会 春季大会)

30)阿部祥子, 中村知裕, 三寺史夫 発達初期段階における Kelvin-Helmholtz 波・Tollmien-Schlichting 波の共鳴(2012年9月15日 2012年度 日本海洋学会 秋季大会)

31)Nakamura, T., Koseki, S., Mitsudera, H. Response of summertime low-level clouds in the Okhotsk Sea to oceanic meso-scale SST variability(2012年5月23日 Japan Geosciences Union Meeting 2012)

32)Yakkala, Y. R., Nakamura, T., Mitsudera, H. Numerical simulation of a snow cloud band over the Sea of Okhotsk(2012年5月23日 Japan Geosciences Union Meeting 2012)

33)Uehara, H., Kruts, A. A., Nakamura, T., Mitsudera, H. Does (surface) salinity in the Bering Sea change (intermediate-layer) temperature in the Okhotsk Sea?(2012年5月23日 Japan Geosciences Union Meeting 2012)

34)深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 北出裕二郎, 平野大輔, 牛尾収輝, 橋田元 ケープダンレープロジェクト -第4の南極底層水起源域の同定-(2012年3月26日 日本海洋学会春季大会)

35)Bajish, C.C., Aoki, S., Taguchi, B., Komori, N. Quasi-decadal variability of Antarctic sea ice(2012年11月29日 2012年度極域気水圏シンポジウム)

36)青木茂, 青山雄一, 土井浩一郎, 野木義史, 渋谷和雄 測地学および海洋学的手法を利用した南大洋における海水位・質量変動の把握(2012年11月29日 2012年度極域地学シンポジウム)

37)北出裕二郎・嶋田啓資・田村岳史・深町康・青木茂・大島慶一郎・牛尾収輝 ビンセネス湾沖で係留観測によって捉えた南極底層水の特徴(2012年11月29日 2012年度極域気水圏シンポジウム)

38)嶋田啓資・大島慶一郎・青木茂 海底地形による効果を考慮した南大洋格子化データの作成(2012年11月29日 2012年度極域気水圏シンポジウム)

39)Sugiyama, S., Sawagaki, T., Fukuda, T., Aoki, S. and Imura, S. Hot water drilling and measurements beneath the grounding zone of Langhovde Glacier, East Antarctica(2012年11月29日 2012年度極域気水圏シンポジウム)

40)Ohshima, K.I., Fukamachi, Y., Aoki, S., Tamura, T., Williams, G. D. New findings of Antarctic Bottom Water: Ongoing warming/freshening and a discovered AABW source(2012年11月27日 3rd symposium on Polar Science)

41)北出裕二郎・嶋田啓資・田村岳史・深町康・青木茂・大島慶一郎・牛尾収輝 ビンセネス湾沖で係留観測によって捉えた南極底層水の特徴(2012年9月25日 2012年度海洋学会秋季大会)

42)北出裕二郎・嶋田啓資・田村岳史・深町康・青木茂・大島慶一郎・牛尾収輝 ビンセネス湾沖で係留観測によって捉えた南極底層水の特徴(2012年6月10日 2012年度日仏海洋学会学術研究発表会)

- 43) 松村 義正, 羽角 博康, 大島 慶一郎 他. 静力学モデルによる海洋微小スケールプロセスシミュレーション(2012年6月14日 京コンピュータシンポジウム 2012)
- 44) 柏瀬陽彦、大島慶一郎、深町康、二橋創平 サハリン沖での係留系氷厚データとの直接比較による AMSR-E 薄氷厚アルゴリズムの作成(2012年9月14日 2012年度日本海洋学会秋季大会)
- 45) 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 北出裕二郎, 平野大輔, 牛尾収輝, 橋田元
ケーブルダンレープロジェクト -第4の南極底層水起源域の同定-(2012年3月26日 日本海洋学会春季大会)
- 46) 田村岳史, Williams, Guy D., Fraser, Alex D., 大島慶一郎 メルツ氷舌崩壊による海氷生産量のレジームシフト
(2012年3月27日 日本海洋学会春季大会)
- 47) 田村 岳史, 豊田 威信, 野村 大樹, 中田 和輝, 青木 茂, 大島 慶一郎, 橋田 元, 館山 一孝, 牛尾 収輝
海氷物理・生態研究に関する南極海国際共同観測(2012年11月29日 第3回極域科学シンポジウム)
- 48) 山野井克己, 溝口康子, 安田幸生, 大谷義一, 渡辺力 森林群落への Hsieh モデルの適用によるスカラーフラックスのフットプリント解析(2012年3月16日 日本農業気象学会 2012年全国大会)
- 49) 溝口康子, 安田幸生, 大谷義一, 渡辺力, 小南裕志, 山野井克己 光合成有効放射量の推定方法(2012年3月16日 日本農業気象学会 2012年全国大会)
- 50) 中井裕一郎、高梨聡、溝口康子、大谷義一、北村兼三、山野井克己、安田幸生、小南裕志、深山貴文、清水貴範、渡辺力、齋藤武史 タワーデータから算定した群落炭素収支機能パラメータ(2012年3月27日 第123回日本森林学会大会)
- 51) 森文洋 PIVを用いた接地境界層における乱流構造の把握(2012年12月26日 北大環境科学院 GCOE-RA 成果発表会)
- 52) 村山昌平, 渡辺力, 高村近子, 三枝信子, 森本真司, 石戸谷重之, 近藤裕昭, 中澤高清, 青木周司, 宇佐美哲之 フラックス観測, 酸素安定同位体観測及び群落微気候モデルにより推定された飛騨高山サイトにおける各呼吸要素の季節的変動(2012年10月5日 日本気象学会 2012年度秋季大会)
- 53) 豊田威信, Smith, I.J., Gough, A.J., Langhorne, P.J., Frew, R.D., Leonard, G.H., Van Hale, R.J., Mahoney, A.R., and Haskell, T.G. 海氷生成に伴う酸素安定同位体分別係数について
(2012年3月27日 日本海洋学会春季大会)
- 54) 牛尾収輝、海氷変動解析プロジェクトチーム 2011/12 シーズン「しらせ」砕氷航行を阻んだ南極リュツォホルム湾の海氷状況～ 極めて厚く成長した積雪起源の海氷 ～(2012年11月29日 第3回極域科学シンポジウム)

- 55) 蒲山裕起、藤吉康志 霞の落下速度と粒径分布の定式化(2012年10月5日 日本気象学会秋季大会)
- 56) 大賀友貴、藤吉康志 東京におけるオゾン濃度の季節および短時間変動(2012年10月5日 日本気象学会秋季大会)
- 57) 青木周司, 稲飯洋一, 中澤高清, 本田秀之, 飯嶋一征, 庄司泰弘, 松坂幸彦, 井筒直樹, 吉田哲也, 森本真司, 菅原敏, 豊田栄, 古谷浩志, 植松光夫, 松見豊, 長谷部文雄
白鳳丸による東部太平洋赤道上での大気微量成分の総合観測(2012年10月5日 日本気象学会 2012年秋季大会)
- 58) 稲飯洋一, 青木周司, 本田秀之, 菅原敏, 森本真司, 長谷部文雄, 植松光夫
白鳳丸熱帯東部太平洋気球観測による TTL 上端大気の age 推定(2012年10月5日 日本気象学会 2012年秋季大会)
- 59) 久保川厚 沿岸・陸棚スケールと大洋スケールの海洋前線の違い(2012年3月26日 日本海洋学会春季大会シンポジウム)
- 60) 三原草介・久保川厚 理想的な設定の海洋 GCM における亜熱帯反流の季節変動(2012年3月27-29日 日本海洋学会春期大会)
- 61) 青木邦弘・久保川厚・古恵亮・McCreary, J.・佐々木英治 OFES で再現された黒潮続流における渦運動量輸送とその基本流への影響(2012年3月30日 日本海洋学会春期大会シンポジウム)
- 62) 久保川厚 2.5 層通気水温躍層の周期的風応力強制への応答(2012年9月16日 日本海洋学会秋季大会)
- 63) 谷本陽一・村中里衣 黒潮・黒潮続流域における気圧極小と海上風非地衡風成分(2012年3月30日 日本海洋学会 2012年春季大会)
- 64) 谷本陽一 黒潮続流上における大気下層の調節過程(2012年5月26日 日本気象学会 2012年春季大会)
- 65) 村中里衣・谷本陽一 黒潮海域における海上風非地衡風成分と大気境界層の関係(2012年11月17日 2012年大気海洋相互作用に関する研究会)
- 66) 村中里衣・谷本陽一 黒潮・黒潮続流上の大気境界層内における非地衡風成分の特徴(2012年3月13日 2012年度新学術領域「中緯度海洋と気候」全体会議)
- 67) Hoshiba, Y., Yamanaka, Y., Mizuta, G., and Irino, T. 数値計算による単純化した河口沿岸海域における栄養塩循環に関する考察(2012年3月27日-29日 2012年度日本海洋学会春季大会)
- 68) 堀之内武 成層圏突然昇温時の大規模前線構造(続報)(2012年5月25日 日本気象学会)
- 69) 上原裕樹, Andrey A. Kruts, Yuri N. Volkov, 三寺史夫, 中村知裕, 小埜恒夫 オホーツク海中層水に与えるベーリング海からの塩輸送の影響—FERHRI 収集資料を用いて—(2012年3月28日 2012年度日本海洋学会春季大会)

- 70) 西垣肇, 三寺史夫 沿岸側にプール域を伴って海底斜面から離れる亜熱帯西岸境界流: 等地衡線による理解(2012年3月27日 2012年度日本海洋学会春季大会)
- 71) 佐伯立, 三寺史夫, 藤崎歩美 海氷と内部波の相互作用によるアイスバンドの形成機構(2012年3月27日 2012年度日本海洋学会春季大会)
- 72) 藤崎歩美, 三寺史夫, 若土正暁 アムール河口域、北西部陸棚域の高解像度シミュレーション(2012年3月28日 2012年度日本海洋学会春季大会)
- 73) Abe, H., Ebuchi, N. Evaluation of sea surface salinity observed by Aquarius(2012年4月11日-13日 7th Aquarius SAC-D Science Meeting)
- 74) Ebuchi, N., Abe, H. Composition of the L-band geophysical model function using data from Aquarius scatterometer(2012年4月11日-13日 7th Aquarius SAC-D Science Meeting)